



三重の業 健康経営企業

3

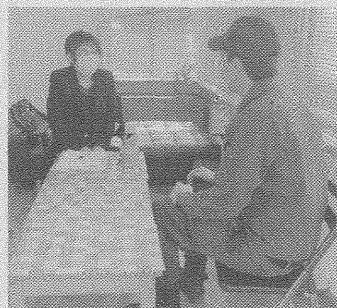
カウンセリング実施で メンタルヘルスに力

●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル
3階

電話
059(228)2545
FAX
059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町
4の16
ロイヤルマンションHAMADA
208号

電話
059(354)6116
FAX
059(329)5333



メンタルヘルス対策に力を入れているカウンセリングの様子

【会社概要】1918年創業。本社伊勢市大湊町1125の10。電話0596・36・2104。従業員数22人(役員を含む)。

1週間の歩いた数を競い合う取り組みを実施した。

同社は、ワークライフバランス、レクリエーション、

5Sをテーマにした委員会制度を設けている。社員は

全員、いずれかの委員会に参加して、自主的にイベントなどを企画する。健康経営の取り組みについても、社員が楽しみながら参加できるよう工夫を凝らしたものはかりだ。

総務部で健康経営を担当する浪野那美子さんは「これまで取り組みに加え、

今後はより女性が働きやすい環境づくりに力を入れる。『プライト500』認定の継続が目標」と話している。

同社では、今年7月に「健康経営推進室」を立ち上げ、健康経営の取り組みを一層強化する態勢を整える。

同社は、2017年に健康宣言を行い、本格的に健康経営に取り組んだ。強力社長は「社員が第一。選ばれる会社を目指すため」と狙いを話す。

特徴的な取り組みでは、20年10月に社内運動会を企画し、それに向けて社員に運動の習慣付けを促した。運動会開催日の2カ月前から運動チェックシートを配り、運動を呼び掛けた。

さらに、従業員のメンタルヘルス対策に力を入れた。20年9月に外部の専門家と

強力社長(右)と認定証を手にする浪野さん



工場・倉庫向け棚製造のゴーリキ

工場・倉庫で材料や製品を保管する棚(ラック)の製造を展開するゴーリキ(強力雄社長)は、従業員のメンタルヘルス対策をはじめ、食生活改善の意識付け、運動習慣を促進する活動に力を入れている。もともと社員が自主的に職場環境の向上などに取り組む委員会制度が浸透していることもあり、参加意識が高いのが特長だ。経済産業省と日本健康会議が認定する「健康経営優良法人2022(プライト500)」の認定を受けた。

意識高く社員に浸透